



# 医療連携だより [アシスト]

# ASSIST

2025.2  
No.64

帝京大学医学部附属病院



## contents

入院治療、脳刺激療法(通電・rTMS)、デイケアで地域に貢献します

メンタルヘルス科 主任教授 功刀 浩

血液内科:多職種連携でチーム力アップに努めています

血液内科 教授 田代 晴子

患者とチームをつなぐ二つの役割—造血細胞移植コーディネーターとアフレーシスナースの立場から—

造血細胞移植コーディネーター(認定HCTC) 学会認定・アフレーシスナース 林 美香

医療連携室より — 第11回帝京大学医療連携セミナーを終えて —

# 入院治療、脳刺激療法(通電・rTMS)、 デイケアで地域に貢献します

メンタルヘルス科では、うつ病、

双極症、統合失調症、不安障害、ストレス障害、摂食障害、睡眠障害、神経発達症、認知症、器質性精神障害など幅広い心の病気で悩みの患者さんの治療を行っています。症状の重い患者さん、家庭では治療が難しい患者さんや自殺の危険があり迅速な対応を必要とする患者さんには入院治療(開放病棟)を行っています。地域のクリニック等からご紹介を受けた患者さんは、外来での治療が可能な程度に回復したら、元の主治医に戻って治療を継続していただきます。

入院治療では、脳MRIやSPICE CTなどの画像診断、脳波検査や心理検査(神経発達症関連検査、性格検査、知能検査ほか)によって詳細な医学情報を得て診断します。入院中はストレスから解放された時間を過ごしていただき、最新のガイドラインに準拠した薬物療法を患者さんと相談しながら行います。さらに、十分な睡眠とバランスのとれた食事によって、心の病から徐々に回復していきます。精神療法も行われ、これまでの人生を振り返り、再出発す



メンタルヘルス科 主任教授 功刀 浩

反復経頭蓋磁気刺激療法(rTMS)装置

るきっかけにもなるでしょう。

入院治療では、薬物で改善されないうつ病や統合失調症の患者さんに対しては通電療法も行っています。通電療法は数秒間の脳への通電を数週間に4〜12回行います。手術室で麻酔をかけて安全に行われ、劇的な効果がみられることが少なくありません。

新しい脳刺激療法として反復経頭蓋磁気刺激療法(rTMS)があり、日本では6年前から保険収載されました。これは、薬ではなかなか治らないうつ病の方を対象として主に入院で行います。磁気で前頭葉を刺激

することによって気持ちをコントロールできるようになる新しい治療法で、2025年から当科で導入されます。麻酔などは必要ありません。ご興味がある方はお問い合わせください。

入院治療のほか、症状がある程度改善しても就労には自信がもてない患者さんにはデイケアプログラムもあります。

入院治療などお問い合わせは医療連携室、メンタルヘルス科外来にお電話ください。メールでのお問い合わせも受け付けています(下記参照)。

【所属・資格】

- 医学博士
- 精神保健指定医
- 日本精神神経学会専門医・指導医
- 公認心理師
- 日本医師会認定産業医
- 日本臨床栄養学会専門医・指導医
- 日本老年精神医学会専門医・指導医
- 日本睡眠学会総合専門医
- 日本総合病院精神医学会精神科リエゾン専門医・指導医ほか。

【専門分野】

気分障害、統合失調症、精神栄養学

メンタルヘルス科 主任教授  
功刀 浩 (くぬぎ ひろし)

- 1986年 東京大学医学部医学科卒
- 1991年 帝京大学医学部精神神経科学講座助手
- 1994年 ロンドン大学精神医学研究所にて研究
- 1998年 帝京大学医学部精神神経科学講座講師
- 2002年 国立精神・神経センター(現・国立精神・神経医療研究センター) 神経研究所疾病研究第三部・部長
- 2017年 同センター気分障害センター長兼任
- 2020年 帝京大学医学部精神神経科学講座教授
- 2021年 現職

●メールでのお問い合わせ先  
mental@teikyo-u.ac.jp



メンタルヘルス科のウェブサイトはこちら▶



## 血液内科：多職種連携で チーム力アップに努めています

白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫などの造血器腫瘍性疾患は、ここ数年、新規薬剤の登場や遺伝子検査による診断の細分化などにより急速に治療内容が進化しています。帝京大学医学部附属病院血液内科（以下、当院または当科）では、非腫瘍性疾患から腫瘍性疾患まで幅広い血液疾患の診療にあたっては、特に腫瘍性疾患に注力しています。造血幹細胞移植も積極的に取り組んでいて、2024年には認定移植コーディネーターの在籍により、目標であった非血縁者間造血幹細胞移植認定施設カテゴリーを取得することができました。これは日本造血・免疫細胞療法移植学会の定める認定基準のすべての項目を満たす診療科に与えられる資格です。当科の移植件数は、同種・自家を合わせても年間20件程度と、決して多くはありません。しかし、その分1例1例の患者さんを科全体で把握し、多職種と連携したアットホームな移植を心がけています。2025年にはさらに2床の準無菌室を増床予定です。

ARRT（カーティ）細胞療法も当科で施行が可能となりました。CAR-T細胞療法とは、患者さんから採取したリンパ球を遺伝子改変して、自身のがん細胞を殺傷するような仕組みを導入し、再び患者さんの体内に戻す治療法です。抗がん剤が効かない再発・難治症例にも効果があることが示され、いくつかの血液腫瘍に対して保険診療として行えるようになっていきます。ただし、施設要件が厳しく、最も使用可能施設の多い製剤でも全国で約60施設でしか使用できません。私は、アメリカ留学時代にCAR-T細胞の基礎研究に従事していた経験があり、自施設で臨床での使用を可能にしたいという思いが強く、この度、院内各部署の協力のもと準備を進め、施設認定を得ることができました。これにより、特殊な治療を除いて、造血器腫瘍に対する治療はほぼ当院で完結できるようになりました。

当科では、一人ひとりの患者さんやご家族に「ここで治療して良かった」と思ってもらえる医療を、チームとして提供できるように日々努めています。地域の先生方

との連携もさらに強固なものにしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしく願っています。

血液内科 教授 田代 晴子



クラス10,000エリア。  
2024年度中に2床増床予定



血液内科チーム



血液内科の  
ウェブサイトは  
こちら▶



血液内科 教授  
田代 晴子 (たしろ はるこ)

- 2000年 帝京大学医学部卒業
- 同年 帝京大学医学部附属病院内科にて初期研修  
現在移植コーディネーターとして共に働く  
林美香（P4、当時は看護師として勤務）とは  
入職同期。
- 2002年 帝京大学大学院医学研究科血液腫瘍研究室に  
所属
- 2012年～2016年  
米国留学（Center for Cell and Gene  
Therapy, Baylor College of Medicine）
- 2016年 帝京大学医学部内科学講座助教  
講師、准教授を経て2023年8月より現職。

### 【所属・資格】

- 日本内科学会：総合内科専門医・指導医
- 日本血液学会：専門医・指導医・評議員
- 日本造血・免疫細胞療法学会：専門医・評議員
- 日本輸血・細胞治療学会：認定医
- 日本血栓止血学会
- 日本臨床腫瘍学会
- 日本再生医療学会

## 患者さんとチームをつなぐ二つの役割

### ― 造血細胞移植コーディネーターとアフエーシスナーズの立場から ―

造血細胞移植コーディネーター(認定HCTC) 学会認定・アフエーシスナーズ 林 美香

#### 造血細胞移植コーディネーター

##### (認定HCTC)の役割

造血細胞移植は、白血病や悪性リンパ腫などの血液疾患の根本治療ができる治療法です。しかし、そのプロセスは非常に複雑で、多職種間の連携、患者さんと家族の心理的ケア、ドナーさんの選定など、多くの課題を伴います。

##### 造血細胞移植コーディネーター

(認定HCTC)は、造血細胞移植を行う前から退院後まで全ての過程で、患者さんやご家族、ドナーさんに寄り添い、移植の複雑なプロセスを「その方らしい移植治療のカタチ」につくり上げていきます。

血液内科(以下、当科)は年間移植件数が20件程度であり、患者さんと治療を共にあゆんでいけるよう、おひとりずつ丁寧に向き合う時間をつくることに力を注いでいます。他施設からご紹介いただいた患者さんは、特に不安を抱えてご来院されます。大切な患者さんに安心して移植医療を受けていただけるよう、責任をもって対応しています。

#### 四季折々の景色を眺めながら快適に入院生活を送れるようサポート

当院はJR十条駅や都営三田線板橋本町駅から徒歩圏内であり、病院正面玄関までバスでのアクセスも良好です。当科の病棟は16階に位置しているため、病棟から見える都心の夜景や、朝焼け・夕焼けへと表情を変える筑波山や富士山などは絶景です。

コンビニエンスストアやファストフード店、カフェなど多くの店舗が敷地内に充実し、患者さんやドナーさんから大変ご好評をいただいています。

そのような環境で移植専門の高度な医療を提供しつつ、輸血・細胞治療センター、薬剤師、栄養士、緩和ケア、リハビリ、歯科口腔外科との多職種連携による手厚いサポートで総括的に患者さんの治療のプロセスが円滑に進めるよう貢献しています。

#### 学会認定・アフエーシスナーズとしてCAR-T細胞療法をサポート

当科は免疫細胞治療であ



病棟から望む、富士山と夕焼け

るCAR-T(カーティ)細胞療法を開始いたしました。

CAR-T細胞療法に必須である「リンパ球採取」について、学会認定・アフエーシスナーズとして採取方法の説明から採取中のケア、採取後まで一貫したサポートも行っています。

治療後の患者さんは慢性的な症状で長期的なサポートが必要であり、地域医療機関との連携が不可欠です。患者さんが適切なタイミングで治療を受けることができるよう、地域全体の身近な医療体制の構築に引き続きご協力いただけますと幸いです。



造血細胞移植コーディネーター(認定HCTC) 学会認定・アフエーシスナーズ  
林 美香 (はやし みか)

2000年 帝京高等看護学院 第一看護科 卒業  
同年 帝京大学医学部附属病院 血液・総合内科混合病棟配属  
2010年 岩槻南病院 循環器病棟 勤務  
2017年 武南病院附属クリニック 勤務  
2019年 武南病院 急性期病棟 勤務  
2021年 帝京大学医学部附属病院 診療技術部  
認定HCTCとして勤務

現在に至る

#### 【所属・資格】

- 日本造血・免疫細胞療法学会
- 日本輸血・細胞治療学会
- 日本血液学会
- 日本移植コーディネーター協議会
- 2000年 看護師国家資格取得
- 2023年 造血細胞移植コーディネーター(認定HCTC)資格取得
- 2024年 学会認定・アフエーシスナーズ資格取得

当院のCAR-T細胞療法のウェブサイトはこちら▶



## 医療連携室より — 第11回帝京大学医療連携セミナーを終えて —

2024年10月31日（木）、池袋のホテルメトロポリタンにて、第11回帝京大学医療連携セミナーを開催いたしました。

今年は昨年を上回り、700名以上と、過去最も多くの方々にご参加いただくこととなりました。これも、平素より医療連携にご協力いただいている皆さまのご尽力のたまものと存じます。誠にありがとうございました。

懇親会にてご挨拶を賜りました板橋区長をはじめ、東京都、板橋区、東京都北区、豊島区、練馬区、各医師会長、副会長の先生方、ご参加いただきました皆さま、当会開催にご協力いただいた各関係部署の皆さまにこの場を借りて、心より御礼申し上げます。

### 今年のセミナーについて

講演会では、まず澤村成史病院長より開会の挨拶をいたしました。第一部の講演会では、医療連携・相談部長、外科教授の佐野圭二が座長をし、内科教授の今津博雄から「地域医療連携と腫瘍診療」という演題で講演いたしました。腫瘍発見の難しさと、だからこそ地域医療の連携が大切であることを

申し上げます。

次に、脊椎・脊髄病センター長、整形外科病院教授の北川知明から「脊椎脊髄手術の進歩―最新の術中イメージングシステムの導入と最小侵襲手術」という演題で活動報告をいたしました。手術中に機器を活用する様子をご覧いただきながら、症例を用いてご報告しました。

最後に医療連携室からも課長の栗山より、毎年恒例の活動報告を行いました。帝京大学病院と医療連携室がこれまでに取り組んできたことと今後の展望を申し上げ、現在の医療連携室のメンバーを紹介いたしました。

皆さまに、当院の最近の取り組みと日ごろの感謝の気持ち、少しでも伝わりましたら幸いです。



### おわりに

当日、急な所用などでご欠席となった皆さまも、お申込みのお手数をお手数いただき、誠にありがとうございました。

今回は事前にお申し込みを多数いただいていたため、準備を念に進めて参りました。混雑が見込まれたため、ホテルの3階だけでなく4階のお部屋も活用いたしました。名札に二次元コードを導入し、受付の効率化と懇親会での不在確認の短縮化を目指すなどの試みもいたしました。うまくいったこともあれば、想定外の事態で混乱したこともありました。行き届かない点も多々あったかと存じますが、何とぞご容赦いただけますようお願い申し上げます。今回の反省を生かし、次回に向けて再び努力して参ります。

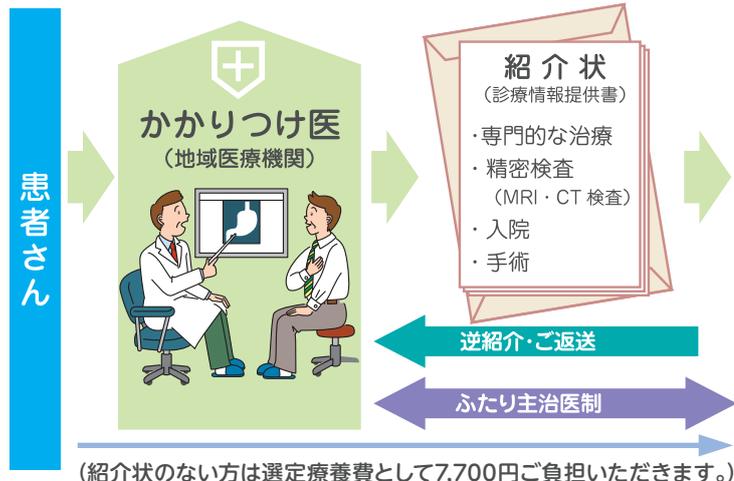
今後も「地域で支える「医療」」に貢献できるよう、地域医療機関・施設の方々のご協力のもと、院内の連携を強化し、「地域の皆さまに安心していただける高度で質の高い医療を提供する」という目標にむかって邁進いたします。なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約\*ができます。\*事前にお電話下さい

## 医療連携の流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



TEIKYO

帝京大学医学部附属病院  
予約専用(医療連携室)  
03-3964-1498

予約受付時間	平日 8:30~17:00
	土曜日 8:30~12:30

初診受付

診療受付時間	平日 (予約あり)	8:30~14:30
	(予約なし)	8:30~11:30
		13:00~14:30
	土曜日	8:30~11:30

## 紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。電話予約の際にご確認させていただく項目(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

## 紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎初診受付【診療受付時間】
- |     |             |
|-----|-------------|
| 平日  | 8:30~11:30  |
|     | 13:00~14:30 |
| 土曜日 | 8:30~11:30  |
- 直接初診受付へお越しください。

\*当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。

## 帝京大学病院正面経由 国際興業バス発車予定時刻表

<p>王子駅発時刻表</p>	<p>赤羽駅西口発時刻表</p>	<p>帝京大学病院正面玄関 王子駅行時刻表</p>	<p>帝京大学病院正面玄関 赤羽駅西口行時刻表</p>
----------------	------------------	-------------------------------	---------------------------------

上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- JR埼京線 十条駅**
  - ① 北口より徒歩約10分
  - ② 北口のりばより赤羽駅西口行き 赤50H(約7分) 「帝京大学病院正面」バス停 下車 \*
  - ③ 北口タクシーのりばより約5分
- 都営三田線 板橋本町駅**
  - ① A1出口より徒歩約13分
  - ② A1出口より約6分
- JR埼京線 板橋駅**
  - ① 西口①番のりばより帝京大学病院経由、王子駅行き 赤22(約10分) 「帝京大学病院」バス停 下車
  - ② 西口より約9分
- JR各線 赤羽駅**
  - ① 東口⑤番のりばより高円寺駅北口行き 赤31(約11分) 「姥ヶ橋」バス停 下車徒歩約5分
  - ② 西口⑥番のりばより王子駅行き 赤50H(約15分) 「帝京大学病院正面」バス停 下車 \*
  - ③ 西口より約12分
- JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅**
  - ① 北口⑥番のりばより帝京大学病院経由、板橋駅行き 赤22(約12分) 「帝京大学病院」バス停 下車
  - ② 北口⑦番のりばより赤羽駅西口行き 赤50H(約15分) 「帝京大学病院正面」バス停 下車 \*
  - ③ 北口より約9分
- 東武東上線 上板橋駅**
  - ① 北口①番のりばより王子駅行き 赤54(約13分) 「姥ヶ橋」バス停 下車徒歩約5分
- 東武東上線 ときわ台駅**
  - ① 北口①番のりばより王子駅行き 赤54(約9分) 「姥ヶ橋」バス停 下車徒歩約5分
  - ② 北口より約12分

## 帝京大学医師会からのお知らせ

### 【産業医研修会について】

帝京大学医師会では、日本医師会認定産業医のための産業医研修会を毎年開催しております。帝京大学医学部附属病院で研修を受けながら、認定に必要な50単位を1年間で全て取得することが容易となりますので、是非ご参加ください。開催日程等の詳細は帝京大学医師会ホームページをご覧ください。

帝京大学医師会ホームページ

URL <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/ishikai/workshop/>

▼詳細はこちら



\* 「帝京大学病院正面」バス停は 赤50Hのみ経由します。時間帯によっては 赤50 の運行となりますのでご注意ください。

赤50 に乗車した場合は、「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分となります。

\* 所要時間は日中平常時、最短時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

◎ タクシーをご利用の場合 ◎ バスをご利用の場合 ◎ 徒歩の場合